

「まほろばだより」が、札幌市の「Good商い賞」を受賞しました!!



札幌市が主催する「まほろば Good 商い賞」。昨年に引き続きお客様が推薦・応募して下さいました。残念ながら昨年は賞を逃しましたが、今年は「魅力が伝わる情報発信」部門で、「まほろばだより」がなんと準グランプリを獲得することができました!!

おめでとー!! (パチパチ)

長年やってきたことがこ



うして評価を頂けたこと、本当にうれしく思っています。これも、いつもお読みいただき方があってこそその賞だと思っています。推薦下さったお客様はじめ、皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました!!

第一次ノミネートは昨年末12月で、お店を取材いただき、その後年明けに審査結果の発表がありました。

受章のポイントは、「SNSやネットでの情報発信全盛のこのご時世に、アナログの紙媒体で、しかも毎月充実した情報を、お客様に直接手渡しで提供していることや、延べ4000号以上にわたって継続していること」などのようです。

まほろばだよりは、創業当初から社長・専務が自ら文章を書き、手書き原稿をハサミとノリの切り貼りでレイアウトし、ガリ版印刷

して、創業の想いや商品へのこだわり、食養思想など、店頭の接客だけでは十分伝えきれない自分たちの想いを、皆様へ伝える手段として誕生しました。

創業当時のまほろばだよりを時々見返す機会がありますが、手書き文字や手書きのイラスト、言葉の端々から何とも言えない力強さを感じます。私が引き継いでから20年少々経ちますが、いまだ「あの当時には敵わない…」と思わずにはいられません。

私自身、昔、工業デザインは学んだものの、レイアウトや編集、グラフィックデザインはもちろん、コンピューターでの操作も経験ありませんでした。本や雑誌、つり革広告を見様見真似の、自己流&いいかげん(良い加減?)でなんとかここまでやってきました。10

年ほど工藤さんに手伝って頂き、昨年からは斉藤君がスタッフとして参加してくれています。エリク

サー浄水器対応など他の仕事も兼用でやっていますので、実際の編集作業は1か月のうち、およそ1週間ほど。できることは限られていますが、これからもまほろばの想いを皆様にお伝えできるよう、肩の力を抜いて気楽に出し続けたいと思っています。

これからも、どうぞ引き続きご覧いただけますようお願い申し上げます。

この度は、本当にありがとうございました!

(まほろばだより編集長・島田 浩)

市の「Good商い賞」3部門で9店受賞



授賞式後、記念写真を撮影する受賞店舗の代表者ら

円、準グランプリの6店に各5万円、目録とトロフィーを手渡した。(柳沢郷一) 各部門のグランプリ、準グランプリは次の通り。

【お店に呼び込む体験会&講習会】▽グランプリ スポーツショップ古内▽南区石山2の2▽準グランプリ スイーツ&ハンドメイドカフェAMU CHOCO(アム・チョコ)▽白石区東札幌1の1、北欧雑貨piccolina(ピッコリーナ)▽中央区南1西1

【魅力を伝える情報発信】▽グランプリ 自然素材の菓子工房まじゅれ▽白石区川北2の3▽準グランプリ crierie(クレイリー月)▽中央区南4西20、オチエール&オーガニック 自然食の店「まほろば」▽西区西野5の3

【地域資源が魅力のお店】▽グランプリ 軟石や▽南区石山1の2▽準グランプリ J・g・lacie(ジエイ・グレース)▽南区定山溪温泉西4、温故知新ブルックスカリー食堂アリオ札幌店▽東区

札幌市は、顧客への配慮に優れた店を表彰する「まほろば Good 商い賞」の受賞9店を決定した。市は各店の取り組みを冊子にまとめるほか、市のホームページ(HP)でも公開し、市内のさまざまなサービス業界への波及を目指す。

2019年2月14日付北海道新聞より